

# 研究主題 「 言語活動を重視した授業づくり 」

## 1、主題設定の理由

OECD が実施した学習到達度調査（PISA）などの各種の調査結果によると、日本の生徒の学力については、「思考力・判断力・表現力等を問う読解力や記述式問題、知識・技能を活用する問題」に、また、全国学力学習状況調査の結果から、「四則計算はできるがそれを問題解決のために活用したり、表やグラフから必要な情報を読み取ったりする」ことに課題があることが明確となった。これを受け、21世紀を生きる子どもたちの教育の充実を図るため、国の教育課程の基準全体の見直しが中央教育審議会で行われることとなった。そして、教育基本法改訂、学校教育法改訂が行われ、知・徳・体のバランスとともに基礎的・基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等及び学習意欲を重視し、学校教育においてはこれらを調和的に育むことが必要である旨が法律上規定されることとなった。この法改正を踏まえた審議が行われ、「生きる力の理念の共有」「基礎的・基本的な知識・技能の習得」「思考力・判断力・表現力等の育成」、そして、これらの学習活動の基盤となる「言語に関する能力の育成」や「豊かな心や健やかな体の育成のための指導の充実」などを改訂の基本とした新小学校学習指導要領が平成23年4月1日から全面実施されることとなった。

本校は、平成17年～19年度、学力向上拠点形成事業の指定校としてその研究に努め、今なおその研究成果をもとに学力向上のための取り組みを継続して行っており、算数科については計算力向上の成果が見られる。CRT、標準学力検査、学力テストを実施し、その学力状況を把握・分析するとともに学力向上のための工夫改善に取り組んでいる。本校児童の学力の調査結果を見てみると、全体的にはほぼ全国水準や期待得点域に達している。しかしながら、全国や本県の課題となっている「知識・技能を活用する問題」において同じように弱さが見られるという結果であった。

21世紀は、新しい知識・情報・技術が社会のあらゆる領域での活動の基盤として重要性を増すいわゆる「知識基盤社会」の時代と言われている。このような知識基盤社会やグローバル化が進行し、めまぐるしく変化する社会状況において、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の調和を重視する「生きる力」を育むことがますます重要になっている。「確かな学力」とは、知識・技能は勿論のこと、これに加えて学ぶ意欲や自分で課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する力を含めたものである。また、「豊かな心」とは自らを律しつつ他人とともに強調し、思いやる心や感動する心であると考えられる。

本校は、教育課程の編成や実施、評価において組織的にOJTに取り組み、拠点校としての役割を担う学校づくりを行い、その先進的な取り組みを県内に普及することにより県内の教育の指導力向上を図ることを目的とする「新教育課程拠点校指定事業（算数科）」の3年間(22～24年度)の指定を受けている。新学習指導要領算数科の改善基本方針としては、次のことがあげられる。

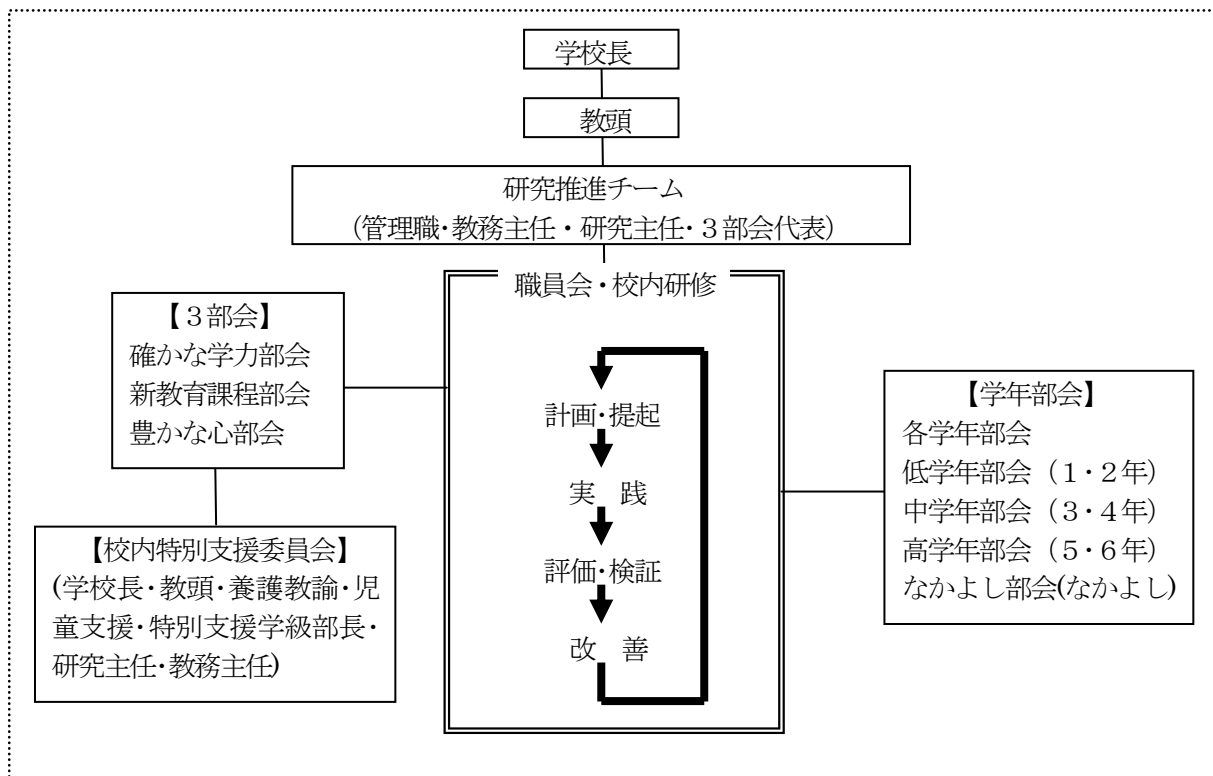
- (1) 基礎的・基本的な知識・技能を確実に身につけ、数学的な思考力、表現力を育てる。
- (2) 発達や学年の段階に応じたスパイラルによる教育課程の編成
- (3) 言語、数、式、図、表やグラフなどを用いて考えたり、自分の考えを説明・表現したりする学習活動の充実
- (4) 学ぶ意欲を高める。
- (5) 算数的活動の充実

新学習指導要領の総則に、教育課程がめざす学力の3要素として、「基礎的・基本的な知識・技能の習得」は勿論、それらを活用する力、つまり「思考力・判断力・表現力等の能力の育成」、そして、「主体的に学習に取り組む態度を養うこと」が明確にされている。先に述べたように、本校児童の学力は、基礎的・基本的な知識・技能については成果が見られるが活用する力において弱さが見られる。習得した知識・技能を問題解決のために活用することによりさらなる定着が促進される。それにより、思考力・判断力・表現力等の能力も高められていく。これらが定着し、高められていくことで、主体的に学習に取り組む児童の姿が見られるようになるはずである。昨年度実施した保護者を対象に行った学校評価では、「学校に力を入れてほしいこと(期待)」という設問に対して、「わかりやすい授業をする。」の回答が一番多く、また教職員対象に行った学校評

価（自己評価）では、「これから特に学校が力を入れなくてはならないことは何ですか。」という設問に対して「授業を改善する。」の回答が一番多く、「教職員の資質、指導力を向上させる。」というのが三番目に多いという結果が出た。このことから、より教育効果の高い授業の構築の必要性を保護者も教職員自身も感じていると言える。

本校では、言語活動を中心に教育効果の高い教育課程の編成や言語活動を重視した授業の構築についてPDCAサイクルによる検証をし、研究を進めていく。授業では「表現・説明する場」、つまり「練り上げの場」が大切になってくる。このことが本校の課題解決につながると考える。算数の授業では、「つかむ（課題把握）・見通す（見通し）・考える（自力解決、練り上げ）・深める（定着）・まとめる（まとめ）」という学習段階に沿って1時間の授業を構成していくことが多い。本研究では、数学的な思考力、表現力を育成するために根拠を明らかにし筋道を立てて体系的に考えることや、言葉や数、式、図、表、グラフなどの相互の関連を理解しそれらを適切に用いて問題を解決したり、自分の考えを分かりやすく説明したり、互いに自分の考えを表現し伝え合ったりすることなど、主として「考える」学習段階における言語活動を重視した授業づくりについて研究を進めていく。思考力・表現力等をより育む言語活動が成立するためには、考えややり方を確かめ合ったり、協力して考え合うことができるような学習集団を育てていかなければならない。「練り上げ」とは、個々の考えを知り、認め合い、検討し合い、自分たちの考えとしていくことである。自分たちが見つけたことや創りあげたことを喜び合えることが主体的で創造的な学習活動につながっていくと考える。このような学習活動を展開するためには、自他共に大切にしていくことができる学習集団の育成を欠かすことができない。そして、その根底にあるのが、本校の学校教育目標にも掲げている「豊かな心の育成」であると言えよう。「確かな学力」のさらなる定着のために大切にしなければならないのは、言うまでもなく、第一に日々の授業である。日々の授業の実践をより高めていくためには、一人ひとりの教師の資質、指導力の向上はもとより、相互に磨き合える教師集団が必要である。校内研修では、「確かな学力」の定着をめざし、教育課程の編成や言語活動を重視した授業の構築について日々の授業を实践、検証の場とし、研究で得たものを日々の授業に活かしていくことを大切にしている。そして、わたしたちは、この研究主題に迫るために、「新教育課程部会」、「確かな学力部会」、「豊かな心部会」の3部会や学年部会を主とし、「言語活動を重視した授業づくり」の研究を進めることで学校教育目標である「確かな学力と豊かな心を持った子どもの育成」を実現できると考え、研究主題として設定した。

## 2、研究組織図



### 3、主な研究内容

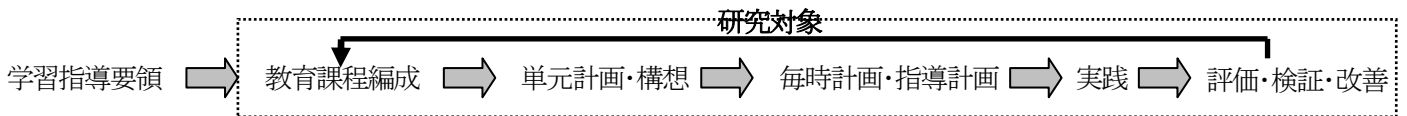
- (1) 学力の定着と向上を目指す取り組み
- (2) 基本的な生活習慣づくり
- (3) 学び合い、共に伸びようとする仲間作り
- (4) 豊かな心を育てるための道徳・人権教育の研究及び指導法の工夫と改善
- (5) さまざまな課題を持つ児童の理解とその支援について

### 4、研究の具体的方法

新教育課程部会・・・舂市⑤ 岩井① 北代② 田村③ 寺岡④ 長谷川⑥ 佐竹教頭  
 確かな学力部会・・・松浦⑤ 宮地① 白石② 中平③ 横川④ 九谷④ 平田⑥ 学校長  
 豊かな心部会・・・岡村⑥ 武内① 前田② 岡林② 本山③ 祖父江④ 島崎⑤ 矢野川⑤  
 野村⑥ 山崎教頭

#### 【新教育課程部会】

- 教育課程(算数科)の作成、改善・・・言語活動の充実
- 言語活動を重視した授業づくり・・・授業診断シートの活用等
- 少人数授業における指導法の工夫と改善



#### 《新教育課程と言語活動》算数科 主な年間計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
教育課程	計画・編成  単元作成(済) 毎時計画作成(済)		実践(日々の授業) → 評価 → 改善等の記入  作成した教育課程を実施し、評価し、改善していく必要がある。実践はつまり日々の授業である。日々の取り組みを通してどれだけ言語活動ができるようになり、知識・技能の習得、思考力表現力等の能力、主体的に取り組む態度、共に学び合う学習などの力を伸ばしたのかを客観性の高いもので評価する必要がある。そのために、学年到達目標(評価規準)設定、評価方法、評価資料による検討。それを踏まえ、改善をしていく必要がある。								次年度の教育課程の作成(改善・修正作業)	
単元計画・指導案等	1単元(済)					実践(日々の授業)・評価・改善						次年度の単元計画・指導案の作成(改善・訂正作業)
研究授業等		授業構成について 講師招聘(新学習指導要領と新教育課程)	なかよし(なかよし2)	全校研(3学年) 講師			全校研(2学年) 全校研(6学年) 講師による授業			中間発表(1・4・5年)		

研究授業・・・ブロック研(全校研、中間発表授業者以外)

全校研(2・3・6年)

中間発表(1・4・5年)

なかよし部会

【確かな学力部会】

- 3分計算・漢字・個別指導の継続的な取り組み
- 学習ルール の定着・・・聞く、話す、を中心に
- 学力診断テストの分析と活用
  - ・ 各学年の経年推移状況をグラフ化した資料作成と活用
  - ・ 単元テストの活用
- 読書活動の推進
  - ・ 目標冊数の設定
  - ・ 朝読書の実施
- 個別指導・・・放課後の補充指導

	1 学 期	2 学 期	3 学 期
1年	5までのたし算 20問 5までのひき算 20問 10までのたし算 50問 10までのひき算 50問	10までのたし算 50問 10までのひき算 50問	くり上がりのたし算 50問 くり下がりのひき算 50問
2年	くり上がりのたし算 50問 くり下がりのひき算 50問 2位数のたし算筆算 25問 2位数のひき算筆算 25問	2位数のたし算筆算 25問 2位数のひき算筆算 25問 かけ算九九 100問	かけ算九九 100問 2位数のたし算筆算 25問 2位数のひき算筆算 25問
3年	かけ算九九 100問 あなあき九九 100問	わり算 2位数÷1位数 (あまりなし) 100問 わり算 1位数÷1位数 (あまりあり) 50問 あなあき九九 100問 ひき算 50問	わり算 2位数÷1位数 (あまりなし・あり) 50問 かけ算 2位数×2位数 筆算 20問
4年	わり算 2位数÷1位数 (あまりなし・あり) 20問 かけ算 3位数×2位数 筆算 10問	わり算 3位数÷1位数 (あまりなし・あり) 10問 かけ算 3位数×2位数 筆算 10問	わり算 3位数÷2位数 (あまりなし) 10問 かけ算 3位数×2位数 筆算 10問
5年	わり算 3位数÷2位数 (あまりなし・あり) 20問	わり算 3位数÷2位数 (あまりなし・あり) 20問	わり算 3位数÷2位数 (あまりなし・あり) 20問
6年	分数たし算 20問 分数ひき算 20問 わり算 3位数÷2位数 (あまりなし・あり) 20問	分数かけ算 20問 分数わり算 20問 分数たし算 20問 分数ひき算 20問	四則計算 分数たし算 20問 分数ひき算 20問

## 【豊かな心部会】

- 基本的な生活習慣づくり
  - ・ 生活アンケート実施・分析・報告、生活年間目標
- 学び合い、共に伸びようとする仲間づくり
  - ・ 認め合い、つながり合う学級づくり・・・自尊感情を育む取り組み
  - ・ ふれあい班の活動
- 豊かな心を育てるための道徳・人権教育の指導法の工夫と改善
  - ・ 講師招聘による研修（夏季休業中）
  - ・ 年間計画に基づいての指導法の研究・授業実践
  - ・ 実践交流、実践内容の紹介・・・校内研での時間を設定する。
- 特別支援教育・・・交流教育の充実、講師招聘による研修

	活 動	備 考
4月	春の遠足（仲間作りゲーム） ふれあい班組織作り（昼休み・写真撮影）〈目標決定・写真撮影〉	
5月		生活いきいきカード実施
6月	ふれあいランチタイム（昼休み） 〈昼食・平和学習・折鶴作り〉	特別支援教育の研修（講師招聘）
7月		年間生活目標の反省、自尊感情の取り組みのまとめ
8月		道徳・人権教育の研修（講師招聘）
9月		
10月		
11月	ふれあいレク（5校時）班対抗綱引き	豊かな心を育てる参観日 （道徳・命の学習・保健）
12月		中間発表、年間生活目標の反省、自尊感情の取り組みのまとめ
1月		
2月	ふれあいランチタイム（昼休み）〈昼食・読み聞かせ〉 お別れ遠足〈砂の芸術〉	人権参観日
3月	6年生への卒業プレゼント ※ 3月は新児童会・5年生が計画、実施	

- 定期的実施・開催
  - ・ 健康調査、生活いきいきカード（月に1週間）
  - ・ 様々な課題をもつ児童についての理解・支援の方法を考える会（月1度）
  - ・ 学期に1回交流学习を行う。

## 5、校内研修実施年間計画

月 日	内 容	備 考
4月 8日 (金)	校内支援委員会( 実態把握と支援方法 )	
4月 12日 (火)	研究についての企画	研究推進委員会
4月 13日 (水)	研究主題、研究組織図、研究内容、具体的方法 等 3部会取り組みの年間計画、具体的取り組み	3部会に分かれて
4月 20日 (水)	3部会提案 ⇒ 学年部会で具体的取り組み	文書提案
5月 11日 (水)	新学習指導要領と新教育課程 ( 講師招聘 )	西部教育事務所指導主事
5月 25日 (水)	言語活動を重視した授業、研究授業指導案の形式等 について	
6月 1日 (水)	学力診断テストの分析( 6年以外 )	6年 修学旅行
6月 8日 (水)	全校研究授業(なかよし)	
6月 22日 (水)	学力診断テストの分析( 6年 ) 3部会	
7月 8日 (金)	全校研究授業( 3年 )	西部教育事務所指導主事 講師招聘 伊藤 説朗先生来校
7月 13日 (水)	1学期総括・2学期の計画	
8月	人権教育についての研修会 道徳教育についての研修会	講師招聘 (於:市教育センター等)
9月 7日 (水)	夏季休業中の研修会報告 学年部会	
9月 14日 (水)	3部会	職員会後
9月 21日 (水)	学年部会・3部会からの提案	
10月 5日 (水)	中間発表に向けての計画	
10月 12日 (水)	全校研究授業( 2年2組 )	西部教育事務所指導主事
10月 26日 (水)	中間発表授業教材研研究	低・中・高学年別
10月 31日 (月)	全校研究授業( 6年 ) 伊藤先生の授業( 6年生対象90分授業 )	講師招聘 伊藤 説朗先生来校 西部教育事務所指導主事
11月 16日 (水)	研究紀要原稿等準備 中間発表授業指導案検討	職員会後
11月 30日 (水)	中間発表に向けて諸準備	研究紀要作成作業等
12月 2日 (金)	中間発表( 授業 1年・4年・5年 )	公開授業 助言者 伊藤 説朗先生来校
12月 7日 (水)	3部会 学年部会	2学期総括
12月 21日 (水)	3部会2学期総括・3学期の計画	文書にて報告
1月 11日 (水)	研究集録内容・担当者等について	
1月 25日 (水)	学年部会	教育課程、単元計画等について
2月 1日 (水)	3部会 学年部会総括	取り組みの整理・まとめ
2月 8日 (水)	3部会総括 集録原稿作成	文書報告
2月 22日 (水)	校内研究総括 集録原稿作成	来年度の研究についての方向性
2月 29日 (水)	学級経営総括	
3月 7日 (水)	研究集録作業、製作	